

A 定かではないが、集団登校は50年くらい前からだ。見直し等は、三条市通学路安全推進会議において、個々の案件に対して現地向いて点検し、具体的な対応を検討している。

市道新光権現線については、本年度に裏館小学校から改善要望が提出されている。



武藤 元美 議員の質問

地域の公園、管理はどうしているのか

Q 地域の公園の管理の現状はどうか。

A 巡回、清掃、除草等の管理を自治会にお願いしている。しかし、担い手の高齢化等で地元管理が困難になり、市の管理に戻るところもある。今、公園等の施設配置の適正化について検討を進めている。

Q 自治会が除草作業し、地域とのトラブルになったのでは困る。除草剤使用に当たっての留意点、散布した箇所の提示等、市民に周知してはどうか。

A 他の自治体の取り組みを参考に除草剤の使用について周知を図りたい。

学校給食の無償化、やるのは今

Q 今、自治体の4割で一部無償を含め学校給食の無償化を実施している。物価高騰も続く今こそ、保護者の直接支援となる給食費無償化に踏み切る時ではないか。

A 実施には4億4000万円の財源が必要となる。恒常的に市単独事業として実施はできない。

Q 半額補助から始める等、前向きに考えてはどうか。

A 財政状況を踏まえると現実的ではない。今後国等に意見を届けたい。

Q 稲作農家の時給は10円だ。農業生産者の減少は、給食の地場食材提供にも影響する。担い手や、農業サポーターの養成等を考えてはどうか。

A 担い手確保のため、農業収入を増やし、農業を職業として選択できる環境整備を図りたい。

CHECK! 常任委員会 審査レポート 詳しく議案を審査します！

諸橋轍次博士奨学金周知のため冊子作成に補正予算計上

総務文教常任委員会 野崎久雄 委員長

議第5号 令和6年度 三条市一般会計補正予算

Q 郵便料金の改定により通信料の増額が必要となる中で、通知等のデジタル化を検討しているか。

A デジタル化も検討していかなければならないが、市民へ確実に情報を届ける方法として、従来通り郵送も必要と捉えている。

Q 補正予算により児童クラブおよび児童館への無線LAN整備を行った後、タブレット端末による学習環境に課題が残る場所はあるのか。

A 現在進めている特別教室および体育館への整備に加え、児童クラブおよび児童館への整備を行うことで、授業時間のほか、児童クラブおよび児童館に在る間も学習環境が整うこととなる。

Q 諸橋轍次博士奨学金を広く市民に周知するための冊子は、具体的に



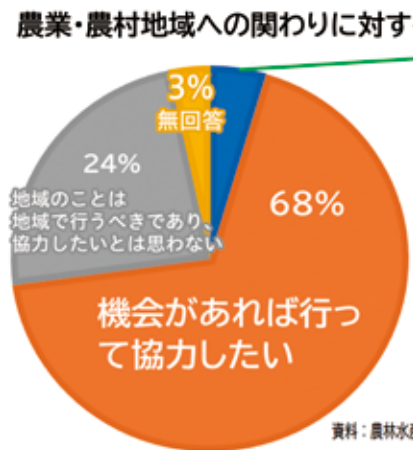
付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

に何冊作成し、どう活用しようと考えているのか。

A 進路を考える際の参考としてもらうため、中学3年生に配布する分として2340冊、制度の安定的な運用や原資となる基金の残高確保にも努める必要があることから、趣旨および目的に賛同する企業の協力を募りたいため、企業に配布する分として1500冊、経済的な理由で進学を断念することがないよう、各種相談窓口に配布する分として1160冊、合計5000冊を作成したい。

5% 積極的に地域へ行き、協力したい

73% 合わせて、協力したい



西川 重則 議員の質問

老朽化が進む市役所三条庁舎の建て替えと建設基金条例の制定について

Q 建設から54年、老朽化からくる建物全体の経年劣化は防ぎようがない。8月の大雨による雨漏りなど毎年の修繕費用は直近の5年間で2億2000万円を超えている。建て替えに向けた準備のための基金条例の制定の考えはあるか。

マイナンバーカードの交付事務を管理するシステムを新たに導入

市民福祉常任委員会 馬場博文 委員長

議第5号 令和6年度 三条市一般会計補正予算

Q 戸籍住民基本台帳費の業務システム開発等委託料について、どのようなシステムを導入するのか。

A 現在、市民窓口課では、マイナンバーカードの申請から交付までの各段階において、職員が申請者の情報をエクセルの表に手入力することにより事務を管理している。12月に申請から最短5営業日で交付を行う特急発行を開始されるほか、1月以降は有効期限を迎えるマイナンバーカードの更新の情報を見込まれることから、申請者の情報をマイナンバーカードから取り込めるようにするなど、事務を適切かつ効率的に管理するためのシステムを新たに導入する。

Q 令和6年能登半島地震で被災した住家の公費解体について、解体は11月からの予定とのことだが、住人はもっと早い着手を望んでいるのではないか。補正予算案を6月定例会で提出することはできなかったのか。

A 三条市と同規模の自治体で新庁舎を建てると50億円から80億円程度と聞いている。

三条庁舎が未来永劫使えるとは思ってはいないが、新しい庁舎とまちづくりの関係などについても研究していきたい。



国道8号直江町二丁目地内交差点の問題について

Q 市道一中裏通り線を含む3本の市道が、交差点手前で市道一中裏通り線に合流して、国道交差点に進入するに当たり、新潟方面に向かう右折車線の車両が右折信号がないため、渋滞が生じてしまう。渋滞を解消するためにも右折信号の設置が必要だとする利用者の声に対する当局の見解はどうか。

A 右折信号の設置については、現在市道一中裏通り線の右折車線は、1回の赤信号で滞留する車列の長さを確保するための右折専用レーンの長さが不足している。現状では、右折指示信号の設置はできないと聞いている。

A 5月中旬に相談を受け、その後、国や県に公費解体の対象になるか問い合わせたが、回答が8月上旬だったため、今定例会での提出となった。



付託された議案のうち、議第2号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

